

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	大分県立看護科学大学
設置者名	公立大学法人 大分県立看護科学大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
看護学部	看護学科	—	90	—	15	105	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバスに記載 (ホームページ: https://www.oita-nhs.ac.jp/site/nursing/syllabus.html)

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大分県立看護科学大学
設置者名	公立大学法人 大分県立看護科学大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ：<https://www.oita-nhs.ac.jp/site/daigakuanai/hojin-soshiki.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤 井原 健二	大分大学医学部附属病院 院長	R7.4.1 ～ R9.3.31	教育・研究担当
非常勤 宇都宮 徹	大分県立病院長	R7.4.1 ～ R9.3.31	地域貢献担当
非常勤 渡邊 規生	富士甚醤油株式会社 代表取締役社長	R6.4.1 ～ R9.3.31	経営戦略担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大分県立看護科学大学
設置者名	公立大学法人 大分県立看護科学大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 看護学の考究、看護実践に関する総合的な能力の育成、幅広い人間性の涵養に重点を置いた系統的なカリキュラムが作られており、授業の内容、評価等についてシラバスを作成している。 授業計画(シラバス)の作成過程及び作成・公表時期 ・毎年1～2月に各担当教員によるWebシステム入力 ・入力内容確認 ・3月中に入力完了 ・4月ホームページ公表	
授業計画書の公表方法	ホームページ https://www.oita-nhs.ac.jp/site/nursing/syllabus.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学修の評価については、大分県立看護科学大学履修規程の第5条により定める。 第5条 授業科目の学修の評価は、原則として試験により行う。 2 試験は、筆記、口述、レポート等の提出及びその他の方法により授業の中で適切な時期に随時実施する。ただし、授業の出欠状況等により、受験を許可しないことがある。 ・各科目の学修の評価と単位認定は、各科目の担当教員がシラバスの「授業科目の紹介」の「評価方法」に記載の評価方法に従って行う。 ・学修の評価(試験)方法：筆記試験、口述試験、レポート等 ・評価は科目ごとにS・A・B・C・Dの順で評価され、Dは不合格とする。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

評価基準及びGPAによる算出は以下のとおり設定し、評価方法についてシラバスにより学生へ明示し、教員間では年2回、教育研究審議会で評価分布を共有し適切な評価に努めている。

評語	評点	Grade Point	意味
S	90-100 点	4	特に優れている
A	80- 89 点	3	優れている
B	70- 79 点	2	普通である
C	60- 69 点	1	単位を認める
C d	再試験による合格	1/0 (以下 (3) 参照)	再試験によって単位は認める
D	60 点未満	0	不合格
X	評価の対象としない	評価の対象としない	

- ・ GPA 算出は、履修登録した科目ごとの 5 段階評価 (S,A,B,C,D) を 4～0 点までの点数 (GP : Grade Point) に置き換えて単位数をかけ、その総和 (GPT : Grade Point Total) を履修登録単位数の合計で割った平均とする。

$$\frac{4.0 \times S \text{ の修得単位数} + 3.0 \times A \text{ の修得単位数} + 2.0 \times B \text{ の修得単位数} + 1.0 \times C \text{ の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数 (「D」の単位数を含む)}}$$

- ・ GPA 算出においては、以下のとおりとする。
 - (1) GPA 算出は、小数点第 2 位以下を四捨五入する。
 - (2) 選択科目で D または履修中止の X の科目は、計算式に含まない。
 - (3) 総履修登録単位数は、不合格科目を再履修し合格の評価を得た場合及び再履修の結果再び不合格の評価であった場合の、それぞれ再履修前の不合格評価については算入しない。ただし、年度ごとに算出する GPA にはそれぞれ算入するものとする。

- ・ 成績表示は以下のよう示す。

評語	本人通知	成績証明
S	S	S
A	A	A
B	B	B
C	C	C
Cd	C	C
D	0	表示せず
X	D	表示せず

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページ
<https://www.oita-nhs.ac.jp/site/nursing/course.html>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 【卒業認定・学位授与方針】 以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生には、学位が認定される。 1. 心豊かな人間性・倫理観 2. 科学的思考力 3. 看護の基盤となる専門知識・技能 4. 連携協働・リーダーシップ 5. 地域性・国際性 6. 探究心と創造力 卒業に必要な単位数は学則・履修規程で定める。卒業に必要な要件を満たすと、看護師の国家試験受験資格が与えられる。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページ https://www.oita-nhs.ac.jp/site/nursing/admissionpolicy.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	大分県立看護科学大学
設置者名	公立大学法人 大分県立看護科学大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.oita-nhs.ac.jp/site/daigakuanai/040.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.oita-nhs.ac.jp/site/daigakuanai/040.html
財産目録	該当なし
事業報告書	https://www.oita-nhs.ac.jp/site/daigakuanai/040.html
監事による監査報告(書)	https://www.oita-nhs.ac.jp/site/daigakuanai/040.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 対象年度:)
公表方法:
中長期計画(名称: 公立大学法人大分県立看護科学大学中期計画【第4期】 対象年度: 令和6年度～令和11年度)
公表方法: ホームページ https://www.oita-nhs.ac.jp/site/daigakuanai/45.html

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページ https://www.oita-nhs.ac.jp/site/daigakuanai/list24-56.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページ https://www.oita-nhs.ac.jp/site/daigakuanai/list24-56.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護学部
教育研究上の目的（公表方法： ホームページ https://www.oita-nhs.ac.jp/site/daigakuanai/42.html ）
（概要） 社会で生活する人々に対する理解を深め、看護に関する専門知識・技術の修得とともに、豊かな人間性と幅広い視野や、科学的 根拠に基づく問題解決能力など看護実践に関する総合的能力を養うことにより、地域社会における健康と福祉の向上に貢献し、看護の社会的使命を十分担うことのできる人材を育成する。さらに、看護学の進展に寄与できる人材を育成する。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： ホームページ https://www.oita-nhs.ac.jp/site/nursing/admissionpolicy.html ）
（概要） 【卒業認定・学位授与方針】 以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生には、学位が認定される。 1. 心豊かな人間性・倫理観 2. 科学的思考力 3. 看護の基盤となる専門知識・技能 4. 連携協働・リーダーシップ 5. 地域性・国際性 6. 探究心と創造力
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： ホームページ https://www.oita-nhs.ac.jp/site/nursing/curriculum.html ）
（概要） 本学の教育理念に基づいて、「人間科学」、「基礎看護科学」、「専門看護学」、「広域看護学」の 4 つの大講座の下に、20 の科目群を設置し、これらの科目群を有機的に連携させ、基礎的な知識・技術、および、専門的な知識・技術を修得するためのカリキュラムを、みなさんの成長・学習段階を考慮して、学習効果が上がるように配置している。 また、カリキュラムは、看護師の国家試験受験資格を満たすように作られている。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： ホームページ https://www.oita-nhs.ac.jp/site/nursing/admissionpolicy.html ）
（概要） 看護学とは、人や社会と向き合い健康に関わるケアを実践していく学問である。学部では、総合的な判断力を持つ自律した看護師を育てることを目指し、「建学の精神」を理解した次のような特質をもつ人を受入れる。 1. 生命の尊厳に対する感性と想像力をもち、自他ともに大切にできる人 2. 生物学的なヒトから社会で生活する人間までを科学的に理解するための基礎学力を有する人 3. 新たな学びや課題に向き合い、主体的に考え行動できる人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： ホームページ https://www.oita-nhs.ac.jp/site/daigakuanai/hojin-soshiki.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1 人	－					1 人
看護学部	－	16 人	11 人	7 人	16 人	4 人	54 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		人					人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページ https://www.oita-nhs.ac.jp/site/daigakuanai/3523.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
看護学部	80 人	84 人	105%	320 人	327 人	102%	人	人
合計	80 人	84 人	105%	320 人	327 人	103%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
看護学部	85 人 (100%)	18 人 (21.1%)	65 人 (76.5%)	2 人 (2.4%)
合計	85 人 (100%)	18 人 (21.1%)	65 人 (76.5%)	2 人 (2.4%)
(主な進学先・就職先)（任意記載事項） 大分大学医学部附属病院、大分県立病院、東京大学医学部附属病院、浜の町病院、国立がん研究センター中央病院、横浜市立みなと赤十字病院、福岡市立こども病院、大分県立看護科学大学大学院等				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 看護学の考究、看護実践に関する総合的な能力の育成、幅広い人間性の涵養に重点を置いた系統的なカリキュラムが作られており、授業の内容、評価等についてシラバスを作成している。 授業計画（シラバス）の作成過程及び作成・公表時期 ・毎年1～2月に各担当教員によるWebシステム入力 ・入力内容確認 ・3月中に入力完了 ・4月ホームページ公表
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 【卒業認定・学位授与方針】 以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生には、学位が認定される。 1. 心豊かな人間性・倫理観 2. 科学的思考力 3. 看護の基盤となる専門知識・技能 4. 連携協働・リーダーシップ 5. 地域性・国際性 6. 探究心と創造力 卒業に必要な単位数は学則・履修規程で定める。卒業に必要な要件を満たすと、看護師の国家試験受験資格が与えられる。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
看護学部	看護学科	128 単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ

<https://www.oita-nhs.ac.jp/site/daigakuanai/list100.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
看護学部	看護学科	535,800 円	(県内) 232,000 円 (県外) 332,000 円	約 110,000 円	その他 (後援会費、自治会費等)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 以下のとおり学生の支援に関する取組を実施している。 1. 学生相談 保健室・事務局・学年担任による相談を実施 2. 教員への相談 授業、就職や進路相談に対応 3. コンタクトグループ 学生相互の交流、情報交換を目的に、異なる学年の学生数名と2名の教員により構成 4. 学年担任制を採用 学生生活全般における相談に対応
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 以下のとおり進路選択に係る支援に関する取組を行っている。 1. サポート体制の構築 就職情報コーナーの設置 2. 就職相談室の開設
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 以下のとおり学生の健康管理に関する取組を行っている。 1. 保健室による支援（定期健康診断、健康相談・応急処置、学生相談） 2. 学生生活のための保険（教育研究活動中や課外活動、通学中、疾病や賠償保障等）

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ

<https://www.oita-nhs.ac.jp/soshiki/list14-1.html>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F144210111425
学校名 (〇〇大学 等)	大分県立看護科学大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	公立大学法人 大分県立看護科学大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		101人（67人）	102人（65人）	105人（68人）
内 訳	第Ⅰ区分	22人	20人	
	（うち多子世帯）	（6人）	（2人）	
	第Ⅱ区分	18人	14人	
	（うち多子世帯）	（4人）	（3人）	
	第Ⅲ区分	6人	11人	
	（うち多子世帯）	（2人）	（3人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	4人	4人	
	区分外（多子世帯）	51人	53人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（0人）
合計（年間）				105人（68人）
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	2人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	2人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	20人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	20人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。